

○目標を達成するための具体的な取組(案)

別紙2-1

項目	事項	内 容	課題の対応	東北地整		気象台		山形県				鶴岡市		酒田市		三川町		庄内町			
				実施内容	実施時期	実施内容	実施時期	実施内容(河川課)	実施時期	実施内容(危機管理課)	実施時期	実施内容	実施時期	実施内容	実施時期	実施内容	実施時期	実施内容	実施時期		
1. ハード対策の主な取組																					
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																					
		・早期に氾濫が発生する地域に対して、洪水時の避難勧告等の発令判断に活用する水位計等の整備	1	・流下能力の低い箇所に簡易水位計を設置 ・CCTVカメラの配置計画の見直し・整備 ・橋梁等への避難判断水位等の標示																	
		・市町庁舎の防災拠点としての機能維持に向けた耐水性整備 ・災害拠点病院等との確実な情報伝達	11 13 15											・鶴岡市役所が浸水した場合、地下非常用発電機が水没する可能性があることから、二次的な非常用電源を屋上に設置する計画をしている。 ・複数手段での情報伝達について施設管理者と調整	H28年度中 H29年度から順次実施	・浸水区域外に位置し、発電機を8F機械室に設置してある、防災庁舎として整備	実施済み	・屋外に2.5mの架台を組み、年度内に非常用発電機の整備を行う予定。	H28年度内	・新庁舎建設の際に検討する。H28基本設計、H29実施設計、H30建設。	H31年度中
		・水防資機材の点検及び整備	10 14											・水防資機材については備蓄しており、各地区の水防団の点検により補充等を行っている。	H29年度から順次実施	・最上川、赤川沿川に15箇所の水防倉庫を整備している。定期的に資材の点検を実施。	継続実施	・現在備蓄の資機材では不十分であり、資機材の定期点検とともに、さらなる資機材の整備をすすめる。	できるだけ早期	・資機材については、毎年、数を増やしている。今後も内容の選定も含め計画的に整備していく。	・継続中
2. ソフト対策の主な取組																					
①住民の主体的で安全な避難行動を促す日頃からのリスクコミュニケーション																					
■情報伝達、避難計画等に関する取組																					
		・リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信整備、住民へのPR	4.5	・スマートフォンを活用した洪水予報等、リアルタイム情報の提供やプッシュ型情報の発信																	
		・防災行動計画(タイムライン)を活用した訓練及び精度向上の検討・実施 ・ホットラインによる確実な気象、水象情報の伝達と助言及びホットラインの活用	1	・タイムラインによる訓練の実施及び精度向上の検討(タイムラインは策定済みH27.3)										・河川氾濫等を想定した、避難訓練及び避難所開設・運営訓練を実施している。洪水災害時における行政や地域住民が行う防災行動について、市や関係機関、地域住民と一緒にタイムラインに沿っての防災訓練を行っている。	継続実施	・検討中	・検討中	・訓練実施も必要であるが、タイムラインの精度向上を優先に行う。	随時	・被害が想定される地区で防災訓練等を実施する場合に組み入れられるか検討を行う。	・要検討
		・近隣市町村との避難に関する検討・調整	3											・広域避難については、検討課題と認識している。	未定	・最上川浸水予測公表後に、必要に応じて近隣町と意見交換する。	H29年度	・自らの自治体の避難計画だけで精いっぱいと思われるが、近隣市町との話し合いの場を持たせていただければありがたい。	できるだけ早期	・検討の必要性は認識するが未実施。幹事会の場を活用できないか。	・要検討
		・切迫性を伝える洪水予報文の改良及び情報発信の検討	1.5	・想定最大規模の浸水区域として対象となる地区名まで表示した洪水予報文の改良																	
		・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の公表	2	・想定最大規模降雨による浸水想定区域図及び家屋倒壊等はん濫想定区域、浸水継続時間の公表																	
		・想定最大規模降雨による水害ハザードマップの作成及び効果的な周知方法の検討・実施	2	・水害ハザードマップ作成への支援																	
		・多様な手段による住民への確実な避難情報等の伝達の実施	4.5																		
		・危険水位等設定河川以外の河川について、避難勧告等の発令基準・区域の設定検討	8																		
		・避難確保計画の作成及び避難訓練に対する支援策の検討	9																		
		・大規模工場等の自衛水防に係る取組の現状把握	10																		

「避ける」

項目	事項	内 容	課題の 対応	東北地整		気象台		山形県				鶴岡市		酒田市		三川町		庄内町					
				実施内容	実施時期	実施内容	実施時期	実施内容(河川課)	実施時期	実施内容(危機管理課)	実施時期	実施内容	実施時期	実施内容	実施時期	実施内容	実施時期	実施内容	実施時期				
『避ける』	■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組																						
		・避難を促すための水害リスクの周知、点検の実施	4.5	・毎年出水期までに避難を促す首長トップセミナーを開催し、併せて共同点検を実施	継続実施									・出前講座で水害のリスクを周知する。	通年	・町内会等による研修会に積極的に参加し、住民の避難行動など、主体的な行動が行えるよう周知を図る。	継続実施	・共同点検の際に、水防隊以外にも、地域の方々からも参加していただく。	継続実施	・防災行政無線、固定電話、携帯電話、広報車等での情報伝達。 町職員・消防団員による地域巡回の実施。	継続実施	・町HPへのハザードマップ掲載と地区への配付。	・実施中
		・小中学校等における出前講座、水害教育の実施	1.2	・小学校の授業の一環として「防災・河川環境」の取組を実施	継続実施	・小中学校への防災に関する出前講座は随時実施している。 ・水害教育に関しては「気象庁ワークショップ」というプログラムがあり、日赤と協力して行う予定。	随時	・小学校への「川の安全利用パンフレット」の配布	継続実施					・各学校で定める危機管理マニュアルに基づき、実効性の高い訓練を促し、生徒及び教員の防災意識の向上を図られるよう周知する(教育庁で通知)。	H28.7月	・各学校において、学校防災マニュアルの作成や避難訓練など、学校の教育活動を通じて防災教育を行っている。	継続実施	・要請を受けて、出前講座を実施する。	継続実施	・現時点で予定なしも、要請があれば実施していきたい。	H28年度から順次実施	・教育関係部署から依頼があれば、危機管理専門員の出前講座等を検討するが、この間の実績はなし。	・要検討
		・情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善	1.4.5			・時系列で危険度を色分けした分かりやすい表示に改善 ・数日先までの「警報級の可能性」の提供 1. 「大雨警報(浸水害)の危険度分布」及び「洪水警報の危険度分布」の提供 2. 大雨警報・洪水警報及び大雨特別警報の改善の実施	H29年度から順次実施																
	・避難行動要支援者の避難誘導体制の整備および避難訓練実施方法の検討	6.7													・避難行動要支援者の避難行動の体制整備については、自主防災組織において検討するものであり、市も支援しながら、地区防災計画の作成につなげる。 ・積極的に避難訓練に参加するよう住民に促していく	H28年度から順次実施 H29年度から実施	・住民に登録制度の周知を行い、福祉部局で集約の上、自治会へ協力を依頼している ・避難訓練の実施方法について検討する	・継続実施 H29年度から実施	・自主防災組織が主となって早期避難誘導を実施するよう体制整備を徹底させる。	H28年度から順次実施	・自主防災組織の活動を通じ、水害に対する防災意識(自助・共助)の向上へとつなげる。		・実施中
②発災時に人命と財産を守る水防活動の強化																							
『防ぐ』	■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組																						
		・水防団員の安全確保を十分に行った上での、洪水時の巡視及び水防活動の連絡、実施体制の検討・構築 ・近隣水防団間の情報の共有	8.9 11.12													・水防団員の巡視活動時における安全確保に努めるとともに、洪水時には、鶴岡消防防災メールに登録している水防団員(消防団員)に情報を提供し、活動している。 ・近隣水防団との情報共有を進める。	継続実施	・水防隊全員へ隊内連絡用トランシーバーを配布し連絡体制の強化を図った	実施済み	・水防団員に対する連絡体制の確立	H29年度内	・警報発令時は、関係する消防団に連絡し巡視している。 ライフジャケット等の安全装備についても必要数量まで備品をすすめていく。	継続実施
	・重要水防箇所及び水防資機材の合同巡視・点検	9.10 12.14	・出水期前に自治体、水防団及び地域住民と重要水防箇所合同巡視を実施	継続実施			・水防協議会の開催 ・実施体制を検討した上で関係市町と調整し、計画的に重要水防箇所の巡視を実施	継続実施 H30年度より実施	・合同巡視にて情報共有					・出水期前に、関係機関や水防団、地域の町内会長・住民会長と合同巡視を実施	継続実施	・共同点検の際に、水防隊以外にも、地域の方々からも参加していただく。	継続実施	・現行通り		・酒田河川国道事務所との重要水防箇所合同巡視へ地域の自主防災組織からも参加を募る。	H29年度		
③一刻も早く日常生活を取り返すための排水活動の強化																							
『取り返す』	■排水活動の強化、施設運用に関する取組																						
		・排水施設操作状況の情報共有と地域住民等への情報提供方法の検討、構築	4.3 17	・背後地を考慮した、洪水時の水門、樋門、樋管操作状況の自治体への情報共有手法の整備・実施	H28年度から順次実施											・洪水時には、河川管理者などから、水門等の操作状況を確認している。	継続実施	・河川管理者等からの操作情報を受け、庁内及び近隣住民へ提供する。	H28年度から順次実施	・排水施設操作関係者との連携を強化する。	H28年度から順次実施	・酒田市丸沼地内にある土地改良区の排水機場を操作する際は、町にも連絡が入り、町の排水機場も稼働する。	・実施中
	・排水計画の策定及び排水訓練の実施	4.12 16	・排水設備及び排水ポンプ車の配置計画の検討 ・排水ポンプ車による訓練の実施	H28年度から順次実施																		・町所有排水ポンプ車の性能点検を各河川にて、委託を受けている土地改良区が実施。連絡を受け町職員も立会っている。	・実施中
④その他																							
	■災害復旧の支援体制の強化および災害情報の共有																						
	・災害復旧の支援体制の強化および災害情報の共有	18					・山形県建設技術センターの災害復旧初期支援の活用 ・毎年、県主催の災害復旧事業担当職員研修会を実施	継続実施						・支援の活用 ・研修会への参加	継続実施	・支援の活用 ・研修会への参加	継続実施	・支援の活用 ・研修会への参加	継続実施	・支援の活用 ・研修会への参加	継続実施	・支援の活用 ・研修会への参加	継続実施

○概ね5年で実施する取組

公表予定

資料4

1)ハード対策の主な取組

別紙2-2

■洪水氾濫を未然に防ぐ対策

具体的取組	課題の対応	目標時期	東北地整	山形地方 気象台	山形県	鶴岡市	酒田市	三川町	庄内町
<最上川下流> ・堤防の浸食対策 ・堤防の浸透対策		継続実施	○						
<赤川> ・河道掘削 ・堤防の浸透対策		継続実施	○						
<県管理河川> ・堤防整備 ・河道掘削 ・堤防の浸透対策		継続実施			○				

■危機管理型ハード対策

<赤川> ・堤防裏法尻の補強		H29年度から H32年度	○						
-------------------	--	------------------	---	--	--	--	--	--	--

■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

水害リスクの高い箇所に簡易水位計の設置	1	H28年度から 順次実施	○		○				
CCTVカメラの配置計の画見直し・整備	1	H28年度から 順次実施	○						
橋梁等への避難判断水位等の標示	1.5	H28年度から 順次実施	○		◎				
・庁舎の非常用発電機の整備及び耐水性の確保 ・災害拠点病院等との確実な情報伝達を実施	11 13,15	H28年度から H31年度まで				○	◎	○	○
備蓄資材の計画的な整備と定期点検の実施	10 14	継続実施			○	◎	◎	○	○

2)ソフト対策の主な取組 ①住民の主体的で安全な避難行動を促す日頃からのリスクコミュニケーション

■情報伝達、避難計画等に関する取組

・スマートフォンを活用した洪水予報等、リアルタイム情報の提供やプッシュ型情報の発信・機能向上、住民へのPR ・避難勧告等の発令基準・区域の設定	4.5	H28年度から 順次実施	○		○				
・タイムラインの策定及び訓練の実施、精度向上の検討 ・ホットラインによる水位情報等の伝達	1	H28年度から 順次実施	○		○	◎	○	○	○
近隣市町との避難に関する検討・調整	3	H28年度から 順次実施				○	○	○	○
切迫性を伝える洪水予報文の改良	1.5	H28年度から 順次実施	○	○					
想定最大規模降雨による浸水想定区域図、家屋倒壊等 氾濫想定区域図、浸水継続時間の公表	2	H28年度から 順次実施	○		○				
想定最大規模の洪水でのハザードマップの作成、周知	2	H28年度から 順次実施	○		○	○	○	○	○
多様な手段による住民への確実な避難情報等の伝達の実施	4.5	継続実施				◎	○	◎	○
危険水位等設定河川以外の河川について、避難勧告等 の発令基準・区域の設定検討	8	H29年度から 実施			○	○	○	○	○
避難確保計画の作成及び避難訓練に対する支援策の 検討	9	H29年度から 実施			○	○	○	○	○
大規模工場等の自衛水防に係る取組の現状把握	10	H29年度から 実施				○			

■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組

出水期までのトップセミナー及び地域住民が参加する共 同点検、水害リスクの周知の実施	4.5	継続実施	◎		○	◎	◎	◎	◎
小中学校等における出前講座、水害教育、避難訓練の実 施	1.2	継続実施	○	◎	◎	○	○	○	○
気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」 等の改善(水害時の情報入手し易さをサポート)	1.4,5	H29年度から 順次実施		○					
避難行動要支援者等のスムーズな避難誘導体制の整備 および避難訓練実施方法の検討	6.7	H28年度から 順次実施				○	○	○	○

2)ソフト対策の主な取組 ②発災時に人命と財産を守る水防活動の強化

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組

水防団員の安全確保を十分に行った上での洪水時の巡 視、及び水防活動の連絡、実施体制の検討・構築 近隣水防団間の情報共有の推進	8,9 11,12	H29年度から 順次実施				○	○	○	○
重要水防箇所及び水防資機材の合同巡視・点検、及び水 防訓練・水防講習会の定期的な開催	9,10 12,14	継続実施	○		○	○	○	○	○

2)ソフト対策の主な取組 ③一刻も早く日常生活を取り返すための排水活動の強化

■排水活動の強化、施設運用に関する取組

排水施設操作状況の情報共有と地域住民等への情報提 供方法の検討、構築	13 17	H28年度から 順次実施	○			○	○	○	○
排水計画の策定及び排水訓練の実施	12 16	H28年度から 順次実施	○						○
災害時及び災害復旧に対する支援強化災害情報の共有	14 18	継続実施			◎	◎	◎	◎	◎

◎:実施中、○:今後実施、検討、×:実施しない、-:未定